

# 第49回レッドウイング・ホンダカップ（中体連の部）

＜兼 第36回静岡県U-14 新人サッカー大会西部予選＞

- 1 主 旨 サッカーを通じて親睦をはかるとともに、サッカー競技の普及と向上をねらい、あわせてたくましい青少年の育成を目的とする。同時に指導者の研修の場とする。
- 2 主 催 一般財団法人静岡県サッカー協会西部支部
- 3 共 催 本田技研工業（株）浜松製作所
- 4 主 管 一般財団法人静岡県サッカー協会西部支部第3種
- 5 後 援 （株）杏林堂薬局

6 期 日	上位トーナメント	下位トーナメント
	【1日目】 10月24日（土）、25日（日） 【2日目】 11月7日（土） 【準々決勝】 11月15日（日） 【5位-8位決定戦】 11月21日（土） 【県大会出場決定戦】 11月22日（日） 【準決勝、順位決定戦①】 11月28日（土） 【順位決定戦②、3位決定戦、決勝】 11月29日（日）	【1日目】 10月24日（土） 【2日目】 11月3日（火） 【準々決勝】 11月8日（日） 【準決勝、3位決定戦、決勝】 11月29日（日）

7 会 場 サラグリーンフィールドサッカー場・スポーツ広場など西部地区各会場

## 8 参加資格

- (1) 2020年度（公財）日本サッカー協会へ登録してある中学2年生以下のもので、中体連登録しているものとする。
- (2) 各地区の新人戦の上位チームを上位トーナメント、下位チームを下位トーナメントへの参加とする。上位トーナメントが県新人につながるトーナメントとする。
  - ・上位トーナメント 浜松：16、磐周：8、小笠：4 合計：28
  - ・下位トーナメント 浜松：23、磐周：6、小笠：4 合計：33
- (3) 登録人数が11人に満たないチームがあった場合、次の条件のもと、他のチームとの合併を許可する。
  - ・中体連の合併規定に準ずる。（同市内での合併）  
※特別な事情がある場合は支部長の判断による。
  - ・支部監督会議で必ず合併の合意があること。
  - ・合併チームのチーム名は双方の名前をつけること。
  - ・救済策の合併であり、強化のための合併でないこと。
  - ・片方が11人以上のチームでも構わない。また、2チームでも11人に満たない場合は、3チームの合併も許可する。
  - ・各中学校長の承認を得ること。
  - ・合併チームが県大会上位に進出し、中体連夏季大会（県大会）のシード枠に関わった場合は、その選考対象から除外される。
  - ・合併チームが春季大会のシード権を獲得した場合、同じ合併チームで春季大会に参加する場合はその

- ままシード権を生かす。それぞれが単独チームで春季大会に出場する場合はシードから除外される。
- (4) スポーツ傷害保険に加入していること（選手の傷害についての応急処置はするが、以後の責任は一切負わない。賠償責任が生じたときも同様とする。）
  - (5) 参加チームは、その中学校に在籍し、かつ本協会的女子加盟チーム登録選手を移籍手続きを行うことなく本大会に参加させることができる。

## 9 大会規定

- (1) 競技規則は、本年度（公財）日本サッカー協会競技規則 2019/20 による。
- (2) 使用球は（公財）日本サッカー協会公認球（5号球）の持ち寄りとする。
- (3) 競技は全チームによるトーナメント方式とする。上位トーナメントのシードは、2019年度1年生大会の結果を基準にする。下位トーナメントは地区のバランスを考えた組み合わせとする。
- (4) 試合時間以下の通りとする。
  - ・試合時間は50分（25分-5分-25分）とし、勝敗が決しない場合は延長戦を行わず、PK戦を行う。
  - ・決勝戦のみ、勝敗が決しない場合は10分（5分-5分）の延長戦を行い、それでも決しない場合はPK戦を行う。（PK戦までの時間は3分をめどとする。）
- (5) 選手登録は試合ごとの25名登録とし、試合開始30分前にメンバー表に先発選手11名に○をして、1部本部に提出する。選手交代は9名とする。
- (6) ベンチ内はスタッフ（監督、コーチ）と登録選手の25名とする。スタッフは5名以内とし、これとは別にトレーナーを認める。
- (7) ベンチは組み合わせ番号が若いチームがホーム側に入る。
- (8) 警告は累積2回で次の1試合を出場停止とする。本大会において、退場を命じられた選手は次の1試合に出場できず、これ以降の処置については本大会の規律委員会において決定する。  
規律委員会は、3種委員長、会場責任者、会場ごとの規律委員で構成する。
- (9) ユニホームは2色用意する。1名しか登録していないGKが怪我等で交代しなければならない場合、フィールドプレイヤーがGKをする際、交代するGKのユニフォームまたはサブキーパーのユニフォームを着用して出場してもよい。
- (10) 県大会出場は上位トーナメント出場チームの上位12チームとなる。
- (11) 試合の延期・中止など
  - ① 試合は雨天決行とするが、暴風、大雨、洪水等の警報が発令された場合や、グラウンド状況などが不良の場合、その他不測の事態が生じた場合は延期を検討する。
  - ② 試合中、上記の事態が生じ、試合続行が困難な場合は、残り試合を後日実施する。
  - ③ 試合途中でも、雷鳴が聞こえたり雷雲が近づいたりする様子がある時は、直ちに近くの建物、自動車、バスの中に入り、安全な空間に避難する。雷活動が止んでも20分以上経過してから屋外に出る。
  - ④ 不測の事態が生じた場合、試合を打ち切り、残り試合時間分を後日実施する。
  - ⑤ 後日の実施が不可能な場合は、打ち切り時点での点数で勝敗を決する。同点の場合は抽選で勝ち上がりチームを決める。

## 10 感染症対策

- (1) マスクの着用を奨励したり、アルコールを持参したりするなど、各チームで責任をもって感染症対策を行う。
- (2) 選手の受付で、「2週間の体調の確認」「当日の体温」を記入したメンバー表を提出し、健康状態の確認をする。
- (3) 1日の試合数を少なくし、会場に大人数が集中しないように工夫する。会場ごとに感染症対策を周知し、選手、来場者に協力を求める。